

本時のねらい

シベリアの人々の生活を理解する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

シベリアについて教科書には載っていない情報を集める。また友だちとの意見共有により、さらに学びを深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ AppleTV
- ・ Safari

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りを行う。 ○課題を提示する。 「冬の寒さが厳しいシベリアでは、人々はどうような生活をしているのだろう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで解説する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の内容等を確認する。 シベリアでの生活に関する情報を教科書だけでなく、インターネットの情報も含めてノートにまとめる。 ○シベリアに関する写真をオクリンクで提出する。 ○全体でシベリアの写真を見合い、共通点を見つけるなど気付いたことをノートにまとめ、グループで話し合い考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検索エンジンを使ってシベリアに関する情報を集める。情報モラル教育の観点からも、信憑性の高い情報にするため、複数のサイトを参考にしよう指導する。 ・シベリアを表す写真をスクリーンショットで撮り、その写真をオクリンクで提出し、全体で共有する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを行う。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：シベリアの食事を調べている場面



写真2：教科書以外で自分が知りたいことを調べ、ノートにまとめている場面

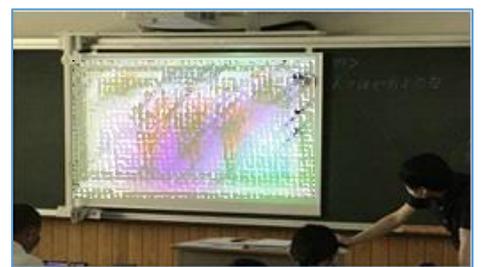


写真3：調べて作成した資料を全体で共有している場面

児童生徒の反応や変容

iPad を使わなければならないだけでなく、使ってもいいとすることで、生徒は自分の判断で使用するかどうかを決めていた。使わない子に聞いてみると、「インターネットには間違った情報があるから、まずは教科書を理解してから使うかを考える。」と言っていた。

また、インターネット検索ではシベリアについて調べていく中で、「シベリアン・ハスキーってシベリアと何か関係があるのかな？」と新たな問いが生まれ、それを自分たちで調べ、シベリアについてより知ろうとするなど、主体的に取り組めた生徒がいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

社会科では、教科書はもちろん、さまざまな情報を扱う。インターネットを利用することでより多くの情報が容易に手に入る一方、情報に偏りがあることもあるので、1つだけの情報ではなく、いくつかの情報を比較、検討し信憑性の高い情報を扱えるようにということも指導した。

また、友だちが調べた写真を共有することで、シベリアの人の暮らしについてさらに思考を深めることができた。